

平成23年度 第1回 山形県立図書館協議会次第

平成23年7月15日(金)

13:30～15:30

遊学館 2階 第5研修室

- 一 開 会 (辞令交付)

- 二 あいさつ
山形県教育庁 教育次長
山形県立図書館長

- 三 委員紹介・職員紹介

- 四 委員長の選任 (新委員長挨拶)

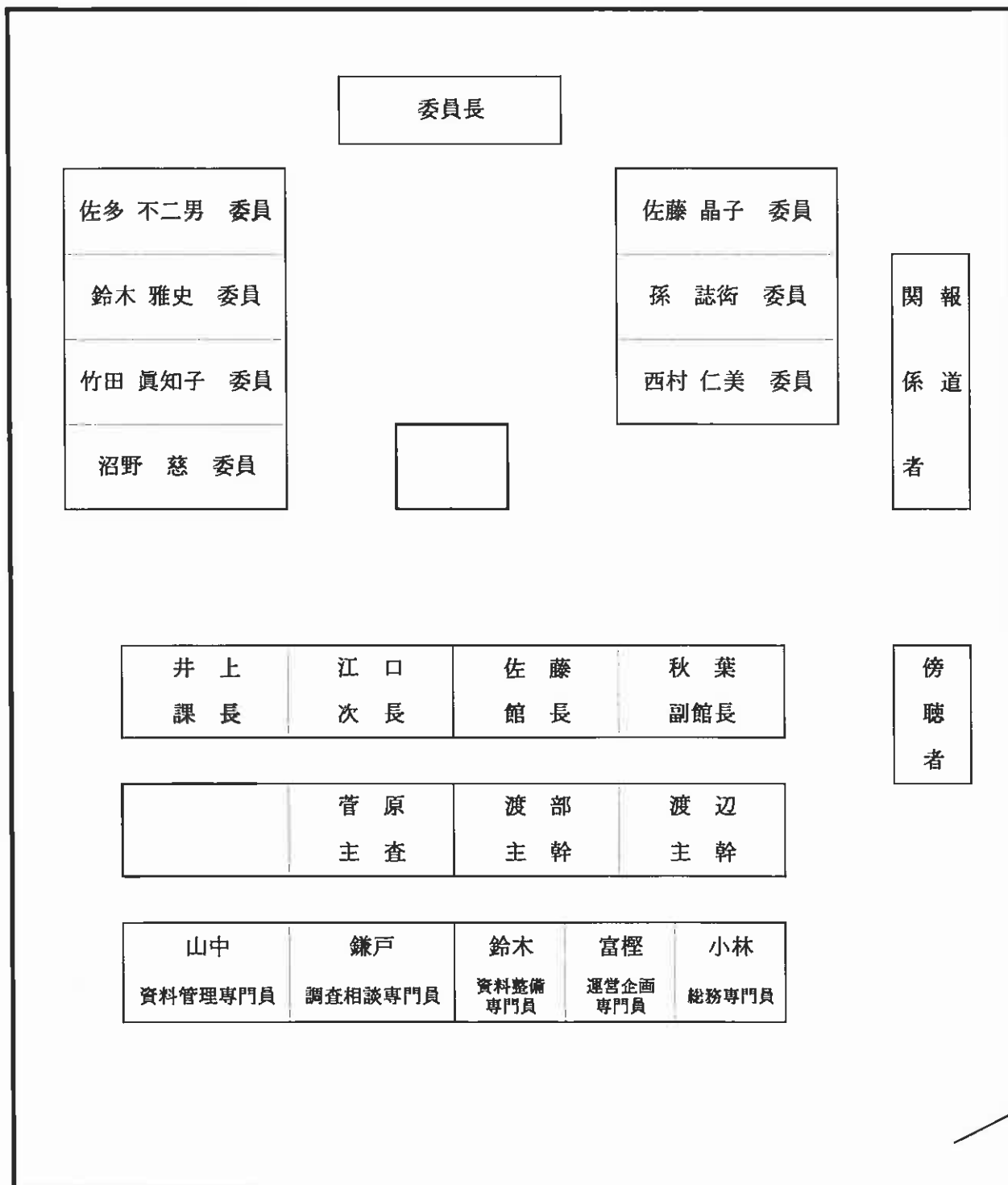
- 五 議 題
 - 1 平成22年度運営の実績について
 - (1) 所蔵資料について
 - (2) 利用実績について
 - (3) 事業実績について
 - 2 平成23年度運営方針等について
 - (1) 運営方針について
 - (2) 組織体制について
 - (3) 事業計画について
 - (4) 予算について
 - (5) 中期運営方針の検討について
 - 3 その他

- 六 その他

- 七 閉 会

山形県立図書館協議会席次表

(遊学館 2階 第5研修室)



傍聴者受付

山形県立図書館協議会委員

任期 平成23年5月25日～平成25年5月24日

(敬称略)

氏 名	役 職	備 考
佐 多 不 二 男	東北文教大学教授	
佐 藤 晶 子	元月刊「SPOON」編集長	
鈴 木 雅 史	山形新聞社報道部副部長	
孫 誌 銜	山形県立米沢女子短期大学准教授 (日本図書館情報学会所属)	
竹 田 眞 知 子	山形県高等学校文化連盟会長 (山形県立山形北高等学校長)	
西 村 仁 美	山形県学校図書館連絡協議会会長 (山形市立高楯中学校長)	
沼 野 慈	特定非営利活動法人NPOもがみ理事長	

50音順

1 平成22年度運営の実績について

(1) 所蔵資料について

(平成23年3月末現在)

- ・平成23年3月末の総資料数は754,784点で、21年度末と比較し8,576点(1.15%)増加した。
(内訳：図書12,844冊増、逐次刊行物4,532冊減、視聴覚資料144点増、新聞合本120冊増、マイクロフィルム及び複製画については増減なし)
- ・所蔵資料(図書、逐次刊行物)の分類別の割合をしてみると、社会科学(19.4%)、郷土資料(16.6%)、文学(14.6%)の順となっている。
- ・減少した資料の内訳を見ると、図書では文学、社会科学の除籍が、逐次刊行物では総記の除籍が多い。

(単位：冊、点)

	平成21年度末蔵書数			増加(登録数)			減少(除籍・移動数)			平成22年度末蔵書数		
	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計	図書	逐刊	計
0 総記	20,811	30,013	50,824	484	1,132	1,616	60	5,537	5,597	21,235	25,608	46,843
1 哲学・宗教	24,758	2,350	27,108	492	55	547	69	0	69	25,181	2,405	27,586
2 歴史・地誌	50,369	5,173	55,542	1,051	217	1,268	117	440	557	51,303	4,950	56,253
3 社会科学	108,734	29,116	137,850	3,801	1,417	5,218	760	376	1,136	111,775	30,157	141,932
4 自然科学	33,282	8,269	41,551	1,327	334	1,661	229	416	645	34,380	8,187	42,567
5 技術・工学	36,630	12,667	49,297	1,659	566	2,225	104	994	1,098	38,185	12,239	50,424
6 産業	34,607	9,574	44,181	809	336	1,145	99	635	734	35,317	9,275	44,592
7 芸術	32,880	11,852	44,732	1,041	529	1,570	170	926	1,096	33,751	11,455	45,206
8 言語	11,298	1,133	12,431	197	25	222	75	174	249	11,420	984	12,404
9 文学	92,229	13,055	105,284	2,464	360	2,824	955	156	1,111	93,738	13,259	106,997
小計	445,598	123,202	568,800	13,325	4,971	18,296	2,638	9,654	12,292	456,285	118,519	574,804
K 郷土資料	100,734	19,189	119,923	1,258	993	2,251	28	842	870	101,964	19,340	121,304
Z 児童	29,058	0	29,058	1,238	0	1,238	332	0	332	29,964	0	29,964
P 紙芝居	915	0	915	7	0	7	-3	0	-3	925	0	925
F 洋図書	4,366	0	4,366	10	0	10	-1	0	-1	4,377	0	4,377
蔵書冊数	580,671	142,391	723,062	15,838	5,964	21,802	2,994	10,496	13,490	593,515	137,859	731,374

視聴覚資料(点)	10,413	153	9	10,557
----------	--------	-----	---	--------

新聞合本(冊)	7,074	120	0	7,194
マイクロフィルム(点)	5,557	0	0	5,557
複製画(点)	102	0	0	102

資料数合計	746,208	22,075	13,499	754,784
-------	---------	--------	--------	---------

(2) 利用実績について

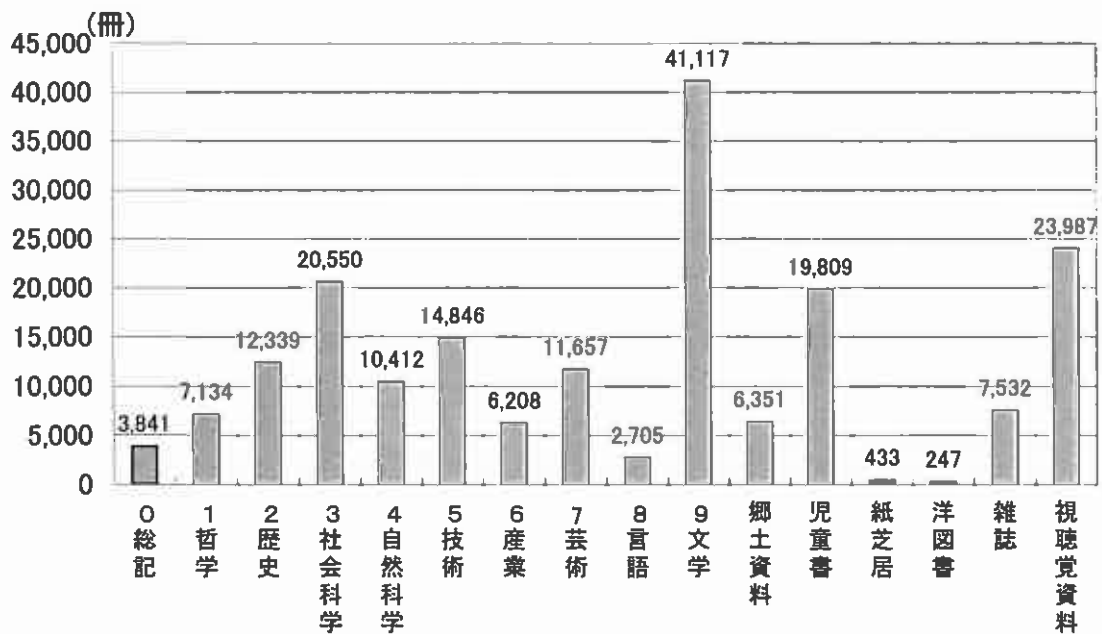
① 入館者数・新規登録者数・館外貸出資料数

入館者数は前年並みとなっているが、新規登録者数と館外貸出資料は若干減少している。

区分	開館日数 (日)	入館者数 (人)		新規登録者数 (人)		館外貸出資料数 (冊)	
		総数	1日平均	総数	1日平均	総数	1日平均
21年度	284	207,818	731.8	2,623	9.2	184,388	649.3
22年度	280	207,277	740.3	2,437	8.7	176,873	631.7
対前年度比	98.6%	99.7%	101.2%	92.9%	94.6%	95.9%	97.3%

② 分類別個人貸出資料数

個人貸出資料数を分類別にみると、多いものから①文学、②視聴覚資料、③社会科学、④児童書等の順となっている。



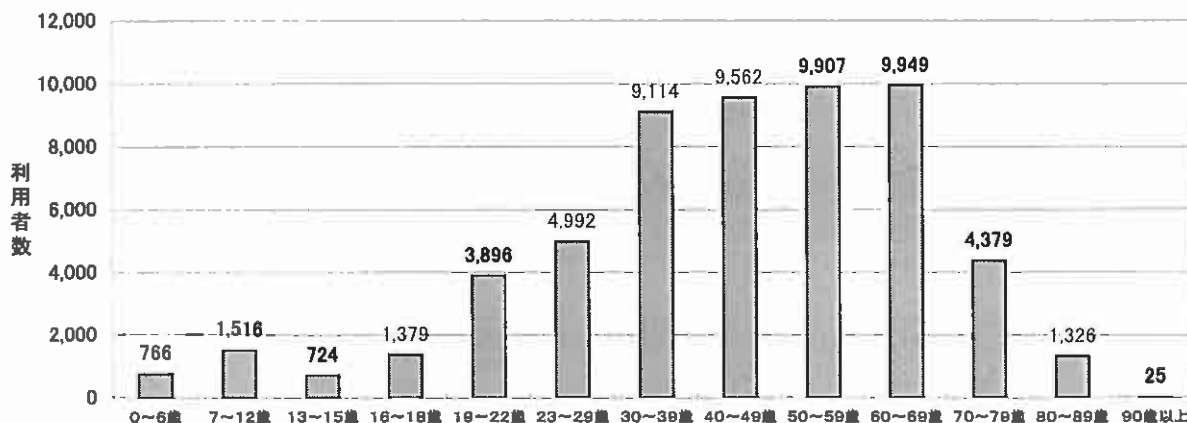
③ 個人貸出資料数の年齢構成

利用者の年齢構成をしてみると30～50代が約半数を占め、0～20代と60代以上がそれぞれ残りの半数を占めている。

前年度と比べると、60代以上の利用者の割合が若干増加している。

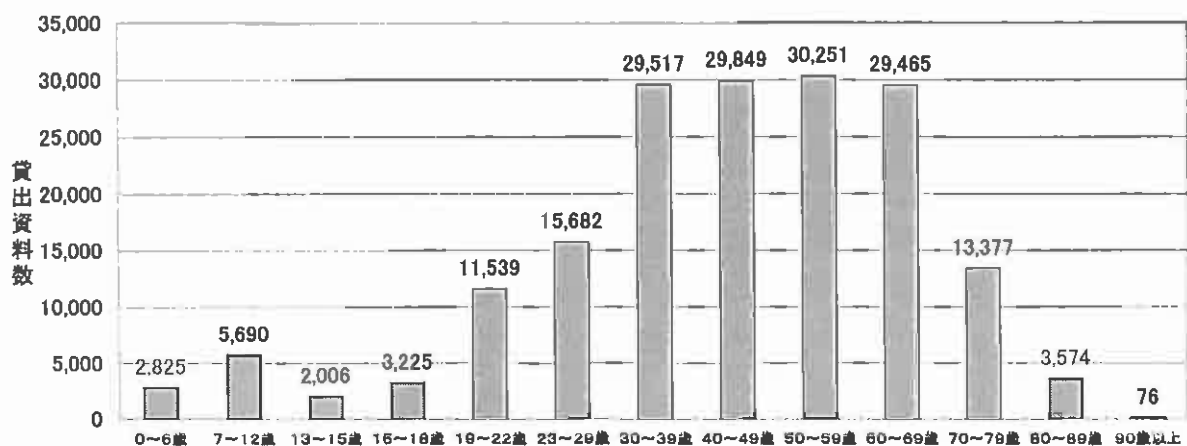
・利用者

区分	利用者数（人）				
	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計
21年度	13,745	29,697	15,304	1,852	60,598
構成比	22.7%	49.0%	25.2%	3.1%	100.0%
22年度	13,273	28,583	15,679	1,969	59,504
構成比	22.3%	48.0%	26.4%	3.3%	100.0%



・貸出資料数

区分	貸出資料数（冊）				
	0～20代	30～50代	60代以上	その他	合計
21年度	43,580	95,030	45,967	12,640	197,217
構成比	22.1%	48.2%	23.3%	6.4%	100.0%
22年度	40,967	89,617	46,492	12,092	189,168
構成比	21.6%	47.4%	24.6%	6.4%	100.0%



④ 図書館間での貸出資料数

図書館間での貸出資料数は約10%伸びているが、借受資料数は若干減っている。

区分	図書館間貸出			図書館間借受
	相互貸借	一括特別	計	
21年度	5,494	1,116	6,610	493
22年度	5,805	1,475	7,280	472
対前年度比	105.7%	132.2%	110.1%	95.7%

⑤ インターネット予約資料数

平成19年10月から開始したインターネット予約資料数は、前年度と比べて9%程度伸びている。

21年度	6,457
22年度	7,042
対前年度比	109.1%

⑥ 調査相談受付件数

調査相談受付件数は前年度と比べて約3%増加している。

区分	口頭	電話	文書	メール	計	一日平均
21年度	5,202	948	374	289	6,813	24.0
22年度	5,669	811	190	354	7,024	25.1
対前年度比	109.0%	85.5%	50.8%	122.5%	103.1%	104.6%

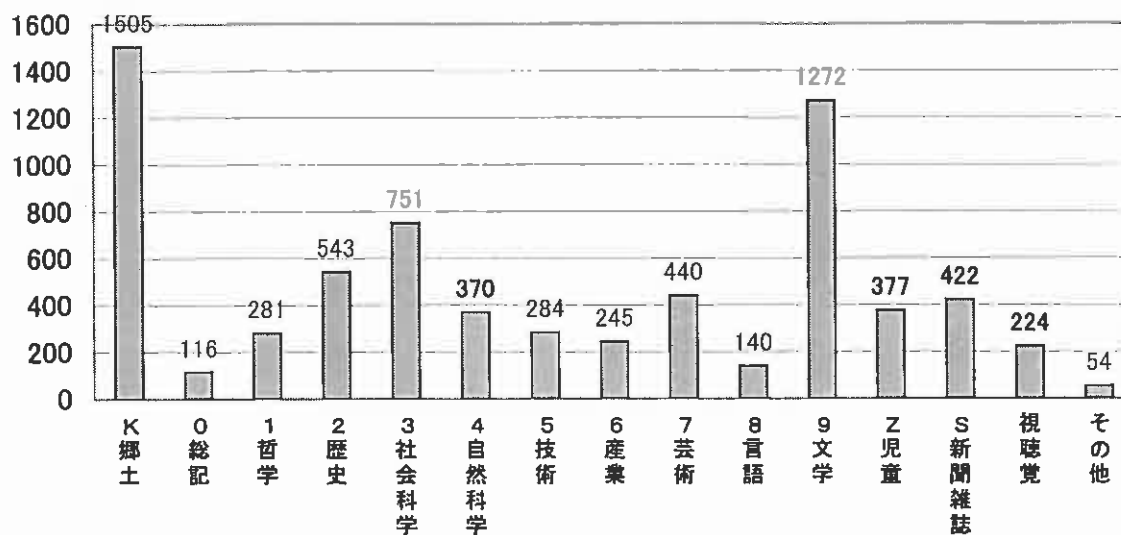
⑦ 調査相談内容別受付件数

調査相談受付件数を内容別にみると、案内や文献等は減少しているが所蔵照会は増加している。

区分	所蔵	事実	書誌	文献	複写	案内	計
21年度	5,194	506	68	323	352	370	6,813
22年度	5,680	474	68	238	305	259	7,024
対前年度比	109.4%	93.7%	100.0%	73.7%	86.6%	70.0%	103.1%

⑧ 調査相談分類別受付件数

調査相談受付件数を分類別にみると、多いものから①郷土、②文学、③社会科学、④歴史等の順となっている。



(3) 事業実績について

<1 企画展示等>

① 読書週間企画展

<春のこどもの読書週間企画展>

区分	春のこどもの読書週間企画展
テーマ	心を育む家族の絵本
期間	4/20～5/15
実日数	23
展示冊数	339
貸出総数	禁貸出

<開館100周年記念事業（秋の読書週間企画展）>

区分	秋の読書週間				計
テーマ	2009～2010 県内出版物展	藤沢周平作品コーナー	井上ひさし作品コーナー	山形県出身児童文学・絵本作家の児童図書展示	
期間	10/19～11/14	11/6～11/14	11/6～11/14	11/6～11/14	
実日数	24	8	8	8	48
展示冊数	1,305	60	52	372	1,789
貸出総数	禁貸出	37	23	—	60

② テーマ別企画展

<一般向け展示>

区分	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	計
テーマ	世界を旅する(アフリカ・オセアニア)	本ってなに?	本を読んで楽しむ	敬老の日 読書のすすめ	本を読んだらどこへ行く?	タイムスリップしてみたら	若い人に贈る本	
期間	6/8 ～7/4	7/20 ～8/14	8/17 ～9/12	9/14 ～10/10	11/23 ～12/18	12/21 ～1/23	3/4 ～3/27	
実日数	23	23	24	23	23	24	20	160
展示冊数	284	228	264	392	348	305	371	2,192
貸出総数	176	202	314	394	305	266	296	1,953

<児童向け展示>

区分	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	計
テーマ	おとうさん、おかあさん	なつやすみ 特集	おじいちゃん、おばあちゃん	赤ちゃん、きょうだい	ともだち	
期間	6/8 ～7/4	7/13 ～8/22	9/14 ～10/10	11/23 ～12/18	12/21～1/23	
実日数	23	34	23	23	24	127
展示冊数	232	325	214	289	235	1,295
貸出総数	113	211	80	145	153	702

<その他の展示>

期 間	山形県出身井上ひさし氏作品コーナー	就職支援コーナー		山形県児童文学・絵本作家紹介	ヤングアダルトおすすめ本	計
		7/13～9/12	9/14～10/21			
4/23～6/6		7/13～9/12	9/14～10/21	4月～3月	4/20～常設展示	
実日数	38	57	31	290	278	694
展示冊数	136	103	60	51	100	450
貸出総数	102	91	52	—	443	688

③ 出前展示

山形県等主催の下記イベント事業の会場に、関連する図書資料を出前して展示。

イベント名 「子育て応援団 すこやか2010」

期 日 5月29日（土）～5月30日（日）

場 所 山形国際交流プラザ

主 催 子育て応援団実行委員会、山形新聞・山形放送 山形県 山形市

④ NHK山形放送局「やまもり！『ぴっくあっぷブック～今回のおすすめ本～』

時期にあわせたおすすめの本3冊に加えて、図書館のイベント・企画展も広報。

第4木曜日、午前11時45分からの生放送。

4月から2月まで8回放送。

<2 県立図書館開館 100 周年記念事業について>

県立図書館が、明治 43 年の開館以来 100 周年を迎えたことを記念し、又、多くの県民に読書の楽しさを知っていただき県立図書館に親しんでもらうために、記念事業を実施した。

1 事業テーマ おいでよ図書館へ

2 事業の内容

- ① 記念講演「つちだよしはるスペシャルトーク」

本県出身絵本作家の土田義晴氏と当館協議会委員の佐藤晶子氏による対話方式のトークショーを実施した。
「親子で親しむ絵本と図書館」と題し、県内公共図書館や学校等との交流を通しての幼児期・児童期における読書の大切さ、公立図書館への期待などを語っていただいた。
- ② つちだよしはる原画展
「おじいちゃんのカブづくり」ほか 6 種類、計 30 点の原画を 8 日間展示した。
- ③ 映画上映会
NHK 母と子のテレビ絵本「きいろいばけつ」（土田義晴作）を上映した。
- ④ 「本を読んで聞かせてよ」
園児・児童 16 人が、一人ずつステージ上で絵本の読み聞かせに挑戦した。
- ⑤ 閉架書庫探検
図書館の中で、県民が日ごろ立ち入ることのできないミステリーゾーンである「閉架書庫」を子どもたちに開放し、探検を行った。(12 名参加)
- ⑥ ワークショップ「世界にひとつの絵皿を作ろう」
絵皿づくりを通じて、子ども(30 人)と作家が交流を行った。
- ⑦ 「折り紙しようよ」
図書館職員の指導により、子どもたちが折り紙の体験を行った。
- ⑧ 県立図書館の歴史・収蔵品展
 - a 年表「100 年のあゆみ」や写真等を展示した。
 - b 「高橋由一石版画」や「最上家在城諸家中町割図」など、当館の貴重資料を展示した。
- ⑨ 県出身絵本作家の絵本展示
荒井良二、土田義晴、真島節子、最上一平など、県出身絵本作家の絵本を展示した。
- ⑩ 藤沢周平・井上ひさしコーナー
山形県ゆかりの作家である藤沢周平氏と井上ひさし氏の著作物を展示した。
- ⑪ 県内出版物展
過去 1 年以内に出版された県人の著作物や郷土資料を展示した。

3 開催期間 平成 22 年 11 月 6 日(土)～14 日(日)

4 会場 遊学館内のホール及びギャラリースペース等

5 P R 先

県内の公立図書館(室)、市町村教育委員会、保育園・幼稚園、小・中・高校、読み聞かせ団体等 計 1,000 箇所強

6 参加者 開会行事・記念講演：一般県民及び県内図書館関係者など約 230 人 収蔵品展・原画展：延約 700 人

2 平成23年度運営方針等について

(1)運営方針について

1 運営方針

(1) 県民の学習活動を支援する情報拠点として、県民ニーズの多様化や情報化の進展に的確に対応し、各地域社会の発展に寄与するため、市町村立図書館との連携を一層強化しながら、県立図書館が担うべき基本的な機能の充実を図る。

- ① 生涯学習情報センター的機能
- ② 総合的情報センター的機能
- ③ 県内公共図書館の中心館的機能
- ④ 地域の社会・文化センターとしての機能

(2) 読書のための図書・資料に関する情報とともに、図書館の実施事業・運営状況、地域の課題解決に資する情報等について、ホームページや報道機関を活用して県民に積極的に提供し、図書館の周知と利用の拡大を促進する。

(3) 図書館法の改正や「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の改正（予定）等、図書館を取り巻く環境の変化に対応するため、館の利用・運営状況、事業効果、地域のニーズ・課題等の把握・分析を行い、これらを基に、より「地域に役立つ」図書館づくりに向けて、中期的（3～5年程度）な重点的取組方針（アクション・プラン）を検討する。

2 主な事業

(1) 資料の充実

県立図書館資料収集方針に基づき、特定分野に偏らない総合的な資料整備を基本に、時代の要請にも即応した資料の整備を進める。

市町村立図書館・大学図書館等との役割分担及び利用者ニーズなどを念頭に置きながら、資料の充実に努める。

(2) 円滑な利用者サービスの確保

利用者への円滑なサービスを確保するため、カウンター業務を担当する司書職員の職場研修の充実に努める。

また、館内の良好な読書環境の維持、醸成及び利用者の安全を確保するため、照明、換気等の室内環境に配慮するとともに、利用者マナーの遵守を呼びかける。

(3) 図書館活動等の広報

図書館運営の状況や各種イベント、展示等の情報について、ホームページ、図書館報等に掲載するとともに、報道機関に積極的に提供し、県民への周知を図る。

(4) 市町村立図書館（室）活動推進のための支援及び連携

インターネット予約と相互貸借の一層の利用を促進し、相互貸借等の図書館（室）間協力体制を強化しながら、県内の図書館ネットワークサービスの展開を図る。

(5) 県外図書館、官公庁、大学、各種団体等との連携

総合目録ネットワークシステムのデータ提供館として、引き続き所蔵データを提供していくことにより、全国ネットワークの一翼を担いながら、全国の図書館との相互貸借を推進する。

官公庁及び各種団体等が主催するシンポジウム等との相乗効果を得るため、その開催会場に出向き、関連資料を展示する。

(6) 調査相談（レファレンス）の充実

担当職員の研修の機会の確保に努め、レファレンス機能の強化を図る。

レファレンス事例についてホームページ等で広く紹介するとともに、レファレンスツールの充実を図り、利用者が必要な情報を自ら獲得できるよう支援する。

(7) 展示の充実

県民の読書に親しむ環境を醸成するため、春・秋の読書週間に合わせた企画展示、子供向け及び一般向けのテーマ別展示、その時々々の時宜に応じた展示等を実施する。

展示内容に関する県民の意見・要望や展示の効果等の把握・検討に努め、より県民に親しまれる図書館づくりを進める。

(8) 子どもの読書活動の推進

子どもの読書や図書館に対する理解と関心を高めるため、県出身絵本作家の「絵本原画展」及び「手作り絵本コンクール」を開催する。

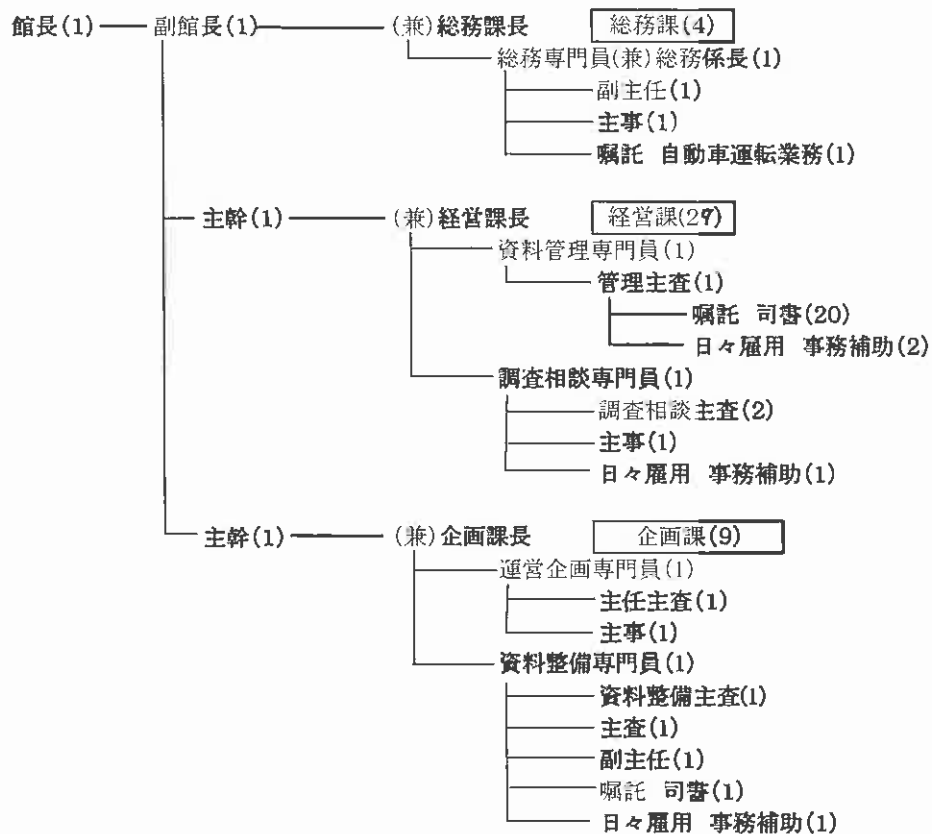
子どもに読み聞かせを行う際に絵本を選ぶ参考となる「絵本の本棚」を引き続き作成・配布し、読み聞かせ活動を支援する。

山形県図書館協会の事務局として、同協会が実施する「学校と公立図書館の連携による子どもの読書活動推進」の取組を効果的に実施する。

(2) 組織体制について

平成23年4月1日現在

① 組織・機構



② 職員配置

	館長	副館長	主幹	課長	専門員	主査	係長 主査	主事	嘱託 (自動車運 転業務)	嘱託 (司書)	日々雇用 (事務補助)	計
館長	1											1
副館長		① 1										① 1
主幹			2									2
総務課				(1)	1		(1) 1	1	1			(2) 4
経営課				(1)	2	3		① 1		②③ 20	3	(1)② 29
企画課				(1)	2	2	1	2		1	1	(1) 9
計	1	① 1	2	(3)	5	5	(1) 2	① 4	1	②③ 21	4	(4)② 46

※()は兼務。○は司書又は司書補、内数

(3) 事業計画について

<1 企画展示等>

① 読書週間企画展

i 春のこどもの読書週間企画展

『親子で楽しもう！季節の行事』

日本には四季を通して様々な行事がある。季節を感じたり、自然の恵みやご先祖様に感謝したり・・・。

行事について書かれた絵本や、山形県内の年中行事に関する郷土資料を通し、親子で行事を楽しんだり、親から子へ伝えていくきっかけとなるよう展示し紹介。

期 日 平成23年4月19(火)～5月14日(土)

場 所 山形県立図書館1F 県人文庫前フロア

内 容 ・ 行事について書かれた絵本、紙芝居など
・ 山形県の年中行事に関する資料
・ 主な行事の由来などをパネルで紹介

ii 秋の読書週間

『2010～2011 県内出版物展』

期 日 平成23年10月18日(火)～11月13日(日)

場 所 山形県立図書館1F 県人文庫前フロア

内 容 前年10月から1年間に出版された県内出版物や、県人及び県関係者の著作物約1,000点および逐次刊行物約300タイトルを展示し紹介。

iii 秋の読書週間特別展

『生誕130周年 ^{おりしもよしのみ}折下吉延 特別展』

期 日 平成23年10月18日(火)～11月13日(日)

場 所 山形県立図書館1F 県人文庫前フロア

内 容 折下吉延は、明治14年生まれ、造園家で、明治神宮造営に携わったことで有名であり、県内では、新庄城址の心字池の造園を手がけるなど、海外を含む各地の造園事業に関わった。県人文庫22人の一人。
今年は生誕130周年の年にあたることから、通常展示していない当館所蔵の貴重資料を展示し、その業績などを紹介。

② テーマ別企画展

i 一般向け

場 所 山形県立図書館1Fフロア

「いろいろな視点からの発見」をテーマとし、宇宙や地球といった大きな世界、私たちの生活に関わる身近な世界、知識や知恵となる学問の世界をさまざまな視点から見られる展示を行う。新しいことに興味を持つ、今まで気になっていたことについて考えるなど、何かを見つけるヒントになるよう、幅広いジャンルの本を展示し紹介。

第1回『地球そして宇宙をみてみよう』 6月11日(土)～7月10日(日)

地球の地上から地下までと、空から宇宙へという大きな世界についての展示。
地上では、海や山などの自然から、街づくりそして環境問題に関する本も紹介。

第2回『自分のライフスタイルとは?』 7月23日(土)～8月20日(土)

生活するということ、衣・食・住居など身近な世界についての展示。
実用的なことから、趣味に関することまでも紹介。

第3回『敬老の日 読書のすすめ』 9月10日(土)～10月9日(日)

秋の夜長に、本を読んでみませんか。
若いあなたから長寿を誇る方まで、年代にあわせて愉しめる本を紹介。

第4回『知識・知恵を得るために』 12月3日(土)～1月8日(日)

産業から芸術、医療、歴史など、学問の世界についての展示。
昔から言い伝えられていることから、最新の話まで、さまざまな分野の知識となることについて紹介。

第5回『若い人に贈る本』『2011年文学賞等受賞作品』

2月21日(火)～3月20日(火)

春に向けて、新たな一歩を踏み出す若い人に薦めたい本を紹介。
また、2011年文学賞等受賞作品も併せて展示。

ii 児童向け

場 所 山形県立図書館2F児童書コーナー

第1回『なつの絵本』 6月11日(土)～7月10日(日)

第2回『なつやすみ特集』 7月12日(火)～8月20日(土)

読書感想文課題図書

自由研究・工作

夏休みおすすめ本(2010年出版本から)

第3回『あきの絵本』 9月10日(土)～10月9日(日)

第4回『ふゆの絵本』 12月3日(土)～1月8日(日)

第5回『はるの絵本』 2月21日(火)～3月20日(火)

『山形県児童文学・絵本作家紹介コーナー』

山形県にゆかりのある児童文学、絵本作家の2009年、2010年に出版された本
を展示し紹介。

ア『ヤングアダルトおすすめ本』

通年展示

ヤングアダルト向けの新着本及び図書館職員からのおすすめ本を展示し紹介。

イ『就職支援コーナー』

雇用情勢が厳しい中、就職活動の一助となるような関連本を展示し紹介。

ウ『中学生職場体験実習から イマドキ中学生のおすすめ本』

図書館の職場体験実習の締めくくりとして、中学生が選んだおすすめ本を各自のコメントをつけて展示し紹介。

③ 出前展示

山形県などが実施するイベント事業などの会場に、関連する図書資料を出前して展示。

「子育て応援団 すこやか2011」

6月25日(土)～6月26日(日) 於 山形国際交流プラザ

主催 子育て応援団実行委員会 山形新聞・山形放送

後援 山形県教育委員会 ほか

④ NHK山形放送局「やまもり! 『ぴっくあっぷブック～今回のおすすめ本～』

時期にあわせたおすすめ本の紹介に加えて、図書館のイベント・企画展も広報。

毎月第4木曜日。午前11時45分からの生放送。

5月から2月まで10回を予定。

<2 県立図書館読書活動推進事業>

1 目的

読書活動は、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きるために欠くことのできないものであるが、特に子どものときに習慣化することにより、計り知れない効果が生まれるものと言われている。

この事業は、絵本をきっかけとした諸取組みを展開することにより、本好きな子どもを育成し、子どもの読書活動を推進するための動機付けとすることを目的としている。

2 概要

(1) 事業内容

① 絵本原画展

(財)生涯学習センターが企画・実施する絵本作家の講演会にあわせ、絵本作家の原画及び絵本を展示することにより、本を身近なものに感じ、かつ本に親しむ気運を醸成する。

② 手づくり絵本コンクール

県内在住の幼児から高校生以下までに手づくり絵本の創作を募集し、審査により優秀作を選定・表彰することにより、本への親しみや読書意欲の推進を図る。

また、優秀作は製本のうえ当館等の蔵書として活用することで、子ども読書活動推進を側面から支援する。

③ 手づくり絵本発表会

手づくり絵本コンクール優秀作品の発表会を開催し、県民運動としての「読書県山形」の浸透を図る。

(2) 開催期日・場所

①読書週間(10/27～11/9)に合わせて、遊学館内で開催予定

②募集期間：平成23年8月15日～9月9日

③平成24年2月9日(木)開催予定(県教育委員会主催)の「子ども読書活動推進フォーラム」(ビッグウイング)に併せ実施予定

(3) その他

事業は、初年度の状況・効果を見極めたうえで随時見直しを行い、県全域への浸透を図るため、3ヵ年程度の継続を考えている。

(4) 予算について

県立図書館の平成23年度当初予算額は、11,491万1千円で、前年度比15.2%の増。
増額の主な理由は、コンピュータ賃借料等の増、郷土図書館誌情報充実事業などである。
図書資料整備充実費は、ほぼ前年度並みの2,583万円。

平成23年度 県立図書館予算(当初)

単位：千円

	平成22年度 (A)	平成23年度 (B)	比較増減 (C) = (B) - (A)	伸率 (C) / (A) × 100	主な内容
県立図書館協議会費	176	201	25	14.2%	協議会開催経費
県立図書館運営費	61,485	68,391	6,906	11.2%	
図書館管理運営費	46,591	45,774	-817	-1.8%	光熱水費、消耗品、通信費等
職員研修費等	629	1,017	388	61.7%	研修、大会旅費等
コンピュータ運営費	14,265	21,600	7,335	51.4%	コンピュータ賃借料等
図書資料整備充実事業費	26,141	25,830	-311	-1.2%	
図書資料充実費	24,175	24,109	-66	-0.3%	一般図書、逐次刊行物、雑誌等
視聴覚資料整備費	1,721	1,721	0	0.0%	VTR、CD、DVD等
100周年記念事業	245	0	-245		100周年記念事業
奉仕活動事業費	2,659	2,801	142	5.3%	製本委託、発行物郵送料
読書活動総合推進事業費	0	999	999		手づくり絵本コンクール等
資料確認整備事業費	9,363	9,908	545	5.8%	緊急雇用対策賃金等
郷土図書館誌情報充実事業	0	6,841	6,841		緊急雇用対策賃金等
合計	99,824	114,971	15,147	15.2%	

参考 県予算

単位：百万円

一般会計予算	600,334	600,718	384	0.1%
教育費	123,938	120,962	-2,976	-2.4%
社会教育費	847	829	-18	-2.1%

(5) 中期運営方針の検討について

1 趣 旨

図書館を取り巻く環境の変化を踏まえ、より「地域の役に立つ」図書館作りに向けて、中期的（3～5年程度）な運営方針を検討する。

2 スケジュール

(1) 課題等の抽出・整理（～10月）

- 次のような材料を基に、今後取るべき方向性、課題・問題点等を抽出・整理
 - ・業務統計調査
 - 蔵書統計、利用統計、情報システム検索等から図書館の状況を数値的に把握
 - ・入館者数調査
 - 日常の入館者の館内利用の状況を時間的、数量的に把握
 - ・来館者アンケート調査
 - 来館者の特性、満足度、ニーズ等を把握（19年実施の「満足度調査」ベース）
 - ・非来館者アンケート調査
 - 県立図書館のサービス、事業、HPの認知度、期待する事項等を把握
 - ・職員からの課題提起、改善策提案
 - ・利用者からの意見・要望
 - ・今後の方向性に関する報告書等
 - 「これからの図書館像」、「第5次山形県教育振興計画後期プラン」等

(2) 重点的に取り組むべき事項等の検討（10～12月）

- (1)を基に重点的に取り組むべき事項と具体的事業展開を館内検討組織で検討
- 県民ニーズ、必要性、緊急性、費用対効果等を考慮
 - （基本的視点）
 - ・図書館の認知度向上
 - ・図書館の利用促進
 - ・地域の役に立つ

(3) 中期運営方針(案)の作成（1月）

- 検討結果を踏まえ、「中期運営方針(アクション・プラン)(案)」として取りまとめ

(4) 図書館協議会に説明、意見聴取、成案（2～3月）

- 図書館協議会の意見を聴き、成案の決定

(5) 「中期運営方針」に基づく取組の実施（平成23～）

- 必要に応じ、随時修正

3 「図書館評価」への接続

- 「中期運営方針」に沿って図書館評価の評価指標と目標水準を設定し、毎年評価を行い、PDCAによる改善の取組

六 その他 <山形県図書館協会事業>

1 平成22年度事業実績

(1) 平成22年度 第30回山形県図書館研究大会

期 日：平成22年10月6日（水）

場 所：東根市さくらんぼタントクルセンター

テーマ：「もじ」ってこんなにすばらしい！ ―国民読書年によせて―

内 容：表彰式 平成22年度全国公共図書館協議会表彰 3名

平成22年度山形県図書館協会事業功労者表彰 4名

朗 読 源氏物語 朗読者 大場玲子氏

講 演（トークショー）

「山形県在住作家が語る読書の楽しさ」

対談者 深町秋生氏、柚月裕子氏

コーディネーター 鈴木雅史氏

参加者数：350名

(2) ブックトーク研修会の開催

「子どもの読書活動推進事業」として、県内2地区（村山地区：寒河江市、最上地区：新庄市）でブックトーク研修会を各2回（7月、11月）実施した。

講師：蔵元和子（文教大学講師）

参加者数：延155名

(3) 学校と公立図書館（室）の連携による子どもの読書活動推進のための計画策定

平成20年度から「学校と公立図書館（室）の連携による子どもの読書活動推進のための実態調査」を実施し、平成22年度は実態調査の最終まとめと、平成23年度以降の山形県図書館協会の「子どもの読書活動推進事業」計画（案）のとりまとめを行った。

2 平成23年度事業計画

(1) 平成23年度 第31回山形県図書館研究大会

平成23年10月7日（金） 鶴岡市 出羽庄内国際村

(2) 学校と公立図書館（室）の連携による子どもの読書活動推進事業

別紙事業計画表のとおり

学校と公立図書館（室）の連携による子どもの読書活動推進事業計画

平成 21～22 年度にまとめた「学校と公立図書館（室）の連携による子どもの読書活動推進のための実態調査」結果に基づき、今後 2 ヶ年を目処とする具体的な事業実施スケジュールは以下のとおりとし、その後については、事業の進捗、効果などを見極めながら再度検討していくこととする。

なお、事業の詳細な実施方法等については、WG（ワーキンググループ）で検討のうえ原案を作成するものとする。

事業項目	23 年度実施内容	24 年度実施内容
<p>●図書館利用の周知、情報共有、協議の場の充実等</p> <p>1 図書館利用ハンドブック（共通の雛形）の作成・配布</p> <p>2 学校図書館からの問い合わせ総合窓口の設置・運用</p> <p>3 学校図書館関係者との定期的な協議の場の設定</p>	<p>・WG において検討、作成</p> <p>・各図書館へ配付(8月を目処)</p> <p>・県立図書館に設置</p> <p>・関係者に広報、周知（6月を目処）</p> <p>・図書館講座、図書館大会等を利用し開催</p>	<p>必要に応じ更新</p> <p>運用 →</p> <p>継続 →</p>
<p>●学校図書館直接支援</p> <p>4 ヤングアダルト推薦本リスト等の作成・配布</p> <p>5 司書の人材バンク整備</p>	<p>・各図書館から収集、取りまとめ</p> <p>・関係者へ配付(8月を目処)</p> <p>・WG において調査、検討（2月）</p>	<p>更新 →</p> <p>運用 →</p>
<p>●地区別研修会支援</p> <p>6 関係者が合同で受講できる研修会・講座の実施</p>	<p>・ヤングアダルト講座の開催(9月)</p>	<p>継続（内容別途検討） →</p>
<p>●ボランティア養成支援</p> <p>7 図書館ボランティア養成講座・地区別研修会の検討</p>	<p>・WG において調査、検討（11月）</p>	<p>実施 →</p>

東日本大震災関係の対応

月 日	対 応 状 況
3/11(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 14:46 地震発生、停電により自家発電装置起動 ・ 職員は、直ちに来館者の安全確保、館内被害状況の確認 ・ 15時過ぎ、臨時休館と決定 ・ 被害：建物の被害はなし 図書数十冊程度が棚から落下 備品は新聞棚転倒、破損。移動式書棚の動作不良
3/11(金)～13(日)	○停電のため臨時休館、12日(土)夜に電気復旧
3/13(日)	○遊学館全館の設備点検、図書館情報システム復旧作業
3/14(月)	○休館日
3/15(火)～	<ul style="list-style-type: none"> ○燃料逼迫及び節電対策等のため開館時間短縮(9:00～16:00) ・ 燃料対策のため、暖房は、朝2時間だけ稼働 ・ 節電のため館内照明を半分以上消灯。県人文庫エリアの完全消灯。 利用者用検索端末等の稼働台数制限
3/16(水)～	○相互貸借、予約貸出、宅配サービスを中止(物流停滞等のため)
3/17(木)～	○県内公立図書館の開館等情報をホームページに掲載
3/23(水)～	○日々の震災関連情報をパネルに掲示(1F入口付近)
4/1(金)～5(火)	○休館(例年ベースの館内整理のための休館)
4/6(水)	<ul style="list-style-type: none"> ○相互貸借、予約貸出、宅配サービスを再開 ○避難者に対する利用カード交付開始(それまでは利用カードを交付せず、その都度手書きの特別貸出申請で対応)
4/6(水)～	<ul style="list-style-type: none"> ○燃料事情やや好転による開館時間の変更(9:00～17:00) ・ 節電のため館内の照明を半分以上消灯。県人文庫エリア完全消灯。 利用者用検索端末等の稼働台数制限
4/7(木)	○ 23:32 余震発生、停電
4/8(金)	○ 8:30 電気復旧。図書館情報システム復旧作業等のため午前中閉館し、13:00 開館
5/6(金)～	<ul style="list-style-type: none"> ○当面の電力事情好転により通常の開館時間(9:00～19:00)に戻す。 ・ 節電のため館内の照明を半分以上消灯。利用者用検索端末等の一部について利用の都度電源ON。県人文庫利用は17時まで。